

つ・な・が・る・通信



V o l . 1

平成 30 年 7 月 27 日

発行/編集 高島町在宅医療・介護連携センター

この通信は、高島町在宅医療・介護連携推進協議会（以下「協議会」）における在宅医療と介護の連携状況を随時お伝えするものです。

協議会「全体会」に65名が参加！

5月18日（金）午後7時から、げんき館において本協議会の「全体会」を開催しました。



「全体会」

「全体会」の主な内容は

1. 協議会の名称を「地域在宅医療推進協議会」から「在宅医療・介護連携推進協議会」に改めて、役員の選出を行いました。

- ・会 長 粕川 俊彦 先生
- ・副会長 土屋 衛 先生
- ・専門部会

医師部会長 門脇 仁 先生
歯科医師部会長 桜井 厚 先生
調剤薬局部会長 島崎 尚弧 薬剤師
看護・介護部会長 寒河江 純子 看護師長
副部会長 八巻 奈保子 ケアマネ

- ・幹事会には、各専門部会長ほか専門部から4名
- ・事務局

町在宅医療介護連携センター（げんき館内）

2. 平成30年度の事業計画を決定しました。

- ①町在宅医療・介護連携センター事業の推進
 - ア. 町在宅医療・介護連携推進協議会の運営
 - イ. 各種研修会の開催

ウ. 在宅医療・介護相談事業

エ. 多職種情報共有支援

・在宅療養者 ⇒オキトピアⅡ、つながる安心ノート

・情報共有 ⇒kintone（キントーン）

②支援困難事例の多職種検討会の開催

ア. 「見える事例検討会」多職種研修会 1回

イ. 多職種に対する医療系の研修会 1回

③専門部会活動の活性化

ア. 医師部会

イ. 歯科医師部会

ウ. 調剤薬局部会

エ. 看護介護部会

専門部会ごとに方針決定

④24時間対応の在宅医療提供体制の構築

ア. 医師部会中心に具体的な検討

イ. 訪問看護ステーションの利用拡大

⑤町民対象の研修会開催

⑥南陽市・東置賜郡医師会等との連携

3. 講演をお聞きしました。

「全体会」終了後、町保健医療統括監 加藤修一先生より、「地域包括ケアシステムと地域医療について」と題して、講演をお聞きしました。



「講演会」

—講演内容—

わが国の超高齢化社会が到来する実態と、国が進める「地域包括ケアシステム」は、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組みであり、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要であり、地域包括支援センターの役割が大変重要になる。

高島町では、特に、地域医療における公立高島病院が果たす役割が地域密着型病院であるという、町の在宅医療・介護の連携を推進する上で、大変重要なお話をいただきました。

懇親会では45名が交流！

講演会終了後、多職種の連携を深めるため懇親会を開催し、顔の見える関係を更に深めました。



「懇親会」

調剤薬局部会を開催！

6月27日（水）午後7時から、げんき館で「調剤薬局部会」を開催しました。



「島崎部会長のあいさつ」

「調剤薬局部会」は、昨年3月に開催し、部会長にSS調剤薬局 島崎尚弧薬剤師・副部会長にファーコス薬局あいのもり 鈴木淳之薬剤師を選出し、今後の取り組みなどを協議しました。

今回は、2回目の部会となり、調剤薬局の現状

や今年度の具体的な取り組みなどを協議しました。

—協議内容—

1. 地域ケア会議における問題事例などの検証

地域ケア個別会議における具体的な事例の検証を行い「薬剤師」の立場から、現状把握から対応策などの意見交換を行いました。

2. 在宅医療における薬剤師の役割について

他職種に対して、在宅医療における薬局が対応可能な事項を理解してもらうためには、どのようなことが考えられるか。また、住民に対して、薬局ができる役割などを検討しました。

特に、予防医療として、特定健診や各種健診などを薬局で周知することやお薬手帳の活用方法等の勉強会を開くこと、又は自宅まで届けるサービスの提供などを今後、継続的に検討することにしました。

また、薬剤師を対象とした認知症サポーター養成講座を開催し、認知症患者の早期発見に結び付ける活動を行うことを確認しました。

最後に、ケアマネとの意見交換会を来る10月17日（水）に開催することを決定しました。



「調剤薬局部会」

編集後記

第1号を発行しました。

今後は、会員の交流をこの紙面でも深めていきたいと考えています。

皆さん、随時、kintone フリートークに書き込みをお願いします。